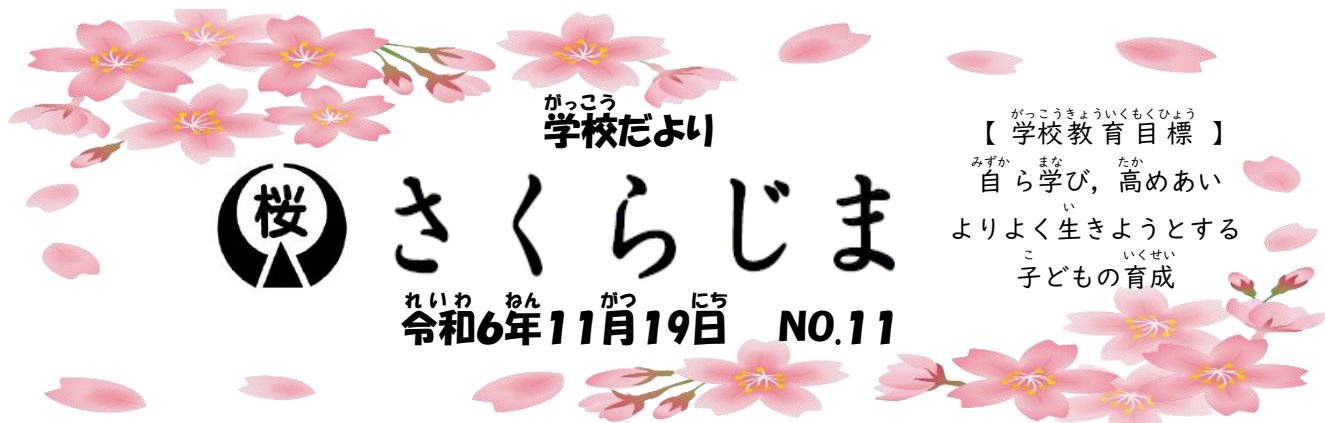




いじめ防止強化月間

三重県では、毎年4月及び11月を「いじめ防止強化月間」とし、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、相互に協力し合いながら、社会総がかりでいじめの根絶に向けて取り組むこととしています。

学校では教職員の「いじめを絶対に許さない」という姿勢を子どもたちに徹底して示し、いじめの未然防止・早期対応を目指すとともに、各学級でいじめ防止について話し合ったり、子どもたちからの啓発活動に取り組んだりします。

ご家庭では、「人を絶対にいじめてはならない」「いじめを見かけたら必ず止める」「それができなければ、親か先生に訴える」のいじめ防止の大原則3箇条を繰り返し話題にし、子どもに教えてください。保護者の責任として、「いじめを許さない」子どもを育てていただくよう、よろしくお願いいたします。また、お子さんの様子を把握していただき、気になることがあれば、学校にもお知らせください。



3年生が1年生に読み聞かせ

3年生の国語に「はんで意見をまとめよう」という学習があります。この学習では、1年生が本を好きになってくれるような読み聞かせをすることを目的に、どの本を読むかを決めるための話し合い活動を行います。授業で話し合いのよりよい方法を学び、それを生かして自分たちで話し合いを行って、「1年生が本を好きになってくれる」という目的に合った本を選びました。そして、その本を実際に1年生に読み聞かせました。

1年生の子どもたちは夢中になって聞き、楽しんでいました。その姿から、3年生の子どもたちは自分たちの話し合いの成果を実感できたと思います。



うんどうかい 運動会 11/8 (金)

うんどうかい 運動会では、子どもたちへのたくさんの声援と温かい拍手をありがとうございました。



子どもたちは運動会に向け、練習を繰り返したり、よりよくしようと考えたりしてがんばってきました。こうしてやり遂げた経験は、子どもたちの大きな力と自信になります。また、子どもたちにとって、勝負や競走に「負ける」



経験も大切だと思います。負けたことによる悔しさや悲しさの感情を、自分でコントロールするスキル、乗り越えるスキルを体得していくことが、今後の人生で困難や挫折にぶつかったときに乗り越えていく力に繋がるはずです。

運動会後の子どもたちのふりかえりからは、「朝、お父さんが、がんばってと言ってくれたので、がんばれました。」「お母さんが、負けても、一生懸命やったのならいいんだよと言っていたのを思い出して、元気が出ました。」など、おうちの人たちのお声かけが子どもたちの心を支えていることを感じました。ありがとうございます。



しろこちゅうがっこうくごうどうがっこううんえいきょうぎかい 白子中学校区合同学校運営協議会 11/5 (火)

桜島小・旭が丘小・稲生小・白子中の各学校運営協議委員が一堂に会し、合同学校運営協議会を行いました。教育委員会事務局教育指導課の橋本伸清様の講演の後、『子どもたちの非認知能力を育むために自分たちができること』をテーマとし、8つのグループに分かれて話し合いました。委員には、自治会長、主任児童委員、地域コーディネーター、PTA役員など、いろいろな立場の方がおみえです。それぞれの立場で地域の子どもの非認知能力を育むために何ができるかを考えました。

どのグループも活発に意見が交わされ、各地域の実践を交流しながら、地域が子どもの育ちに携わっていくための手立てや、地域と保護者がつながることの大切さなどが出されました。今回の話し合いを各学校運営協議会に持ち帰り、今後の活動に活かしていきたいと思います。

